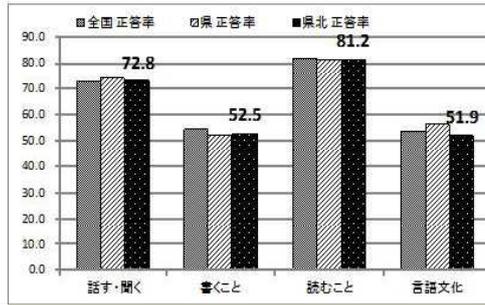


国語(小学校)

※ 領域別の正答率(値は県北地区)

※ 正答率の比較

正答率	H31(R1)	全国比
県北	62.9	-0.9
県	64	-0.2
全国	63.8	



**【正答率から見た成果】**

- 必要な情報を得るために、本や文章全体を概観して、効果的に読むことができる。**2**
- 目的を明確にして聞き、情報を関係付けながら聞き、自分の考えをまとめることができる。**3**

【正答率から見た課題】

- 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く。(条件作文) **1**三
- 文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く。**1**四(2)
- 情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉える。(箇条書き) **1**二

<正答率の低かった問題> 例: **1**三

◇ 目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く(「書くこと」)

**(イ)**

このように、公衆電話は、さん急のときにも使うことができるということが分かりました。

③ 公衆電話は、必要なときに使うことができるようにするために、公衆電話を必要に応じて設置されているのを前もって知っておくことが大切だと思っただけで、わたしは、公衆電話の設置場所を調べてみることにしました。実際に町を歩いてまとめたものが(資料3)です。

この資料から、公衆電話は、主に病院や学校、駅などの多くの人が集まる場所にあるということが分かりました。なぜなら、調査の結果をもとに考えたこと

また、公衆電話を使いだすには、多くの人が集まる場所へ行けば見つけやすいのではないかと考えました。今回の調査を通して知ったことを、学校の友達にイギリスで多くの友達に伝え、公衆電話についてウケんしんをもってもらいたいと思います。

三 高橋さんは、「3 調査の結果をもとに考えたこと」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書いています。に「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書いています。に「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書いています。に「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書いています。

三 高橋さんは、「3 調査の結果をもとに考えたこと」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書いています。に「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書いています。に「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書いています。

三 高橋さんは、「3 調査の結果をもとに考えたこと」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書いています。に「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書いています。に「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書いています。

**(ア)**

このことから、公衆電話は、主に使いたい電話を使うことができ、必要なときに必要とされているということが分かりました。

(2) 公衆電話にはどのような使い方や特徴があるのか

公衆電話(1)で書かれた資料を調べてみると、公衆電話には、次のような使い方があり、特徴があります。

- ・ 警察署(110番)や消防署(119番)には、硬貨やテレホンカードがなくても通報することができます。
- ・ 携帯電話でも、硬貨を使って通話することができます。
- ・ 電話が混雑しているときでも、優先的につながります。

このように、公衆電話は、さん急のときにも使うことができるということが分かりました。

③ 公衆電話は、必要なときに使うことができるようにするために、公衆電話を必要に応じて設置されているのを前もって知っておくことが大切だと思っただけで、わたしは、公衆電話の設置場所を調べてみることにしました。実際に町を歩いてまとめたものが(資料3)です。

この資料から、公衆電話は、主に病院や学校、駅などの多くの人が集まる場所にあるということが分かりました。なぜなら、調査の結果をもとに考えたこと

また、公衆電話を使いだすには、多くの人が集まる場所へ行けば見つけやすいのではないかと考えました。今回の調査を通して知ったことを、学校の友達にイギリスで多くの友達に伝え、公衆電話についてウケんしんをもってもらいたいと思います。

三 高橋さんは、「3 調査の結果をもとに考えたこと」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書いています。に「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書いています。に「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書いています。

三 高橋さんは、「3 調査の結果をもとに考えたこと」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書いています。に「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書いています。に「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書いています。

三 高橋さんは、「3 調査の結果をもとに考えたこと」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書いています。に「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書いています。に「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書いています。

**(資料1)** 公衆電話設置台数の移り変わり

**(資料2)** 公衆電話が必要な理由のまとめ(複数回答)

けいいたい電話をわすれたときに必要	22人
けいいたい電話の電池が切れたときに必要	12人
けいいたい電話の使用が禁止されている場所にいるときに必要	5人
けいいたい電話の電波がとどかない場所にいるときに必要	4人
けいいたい電話や家の電話がつながりにくいときに必要	3人
その他	5人

**(資料3)** 公衆電話の設置場所を示した地図

「事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること」(第5・6学年「書くこと」)に関連する問題です。上記の囲み(ア)と(イ)から、それぞれ「公衆電話はどのような時に必要なのか」、「公衆電話にはどのような使い方や特徴があるのか」の両方を読み取って抜き出し、まとめて書くということができた子どもは26%でした。

- <学習指導にあたって>
- ポイントは、「根拠や理由を明確にして書く力」の育成です!
- 自分の考えが相手に伝わるような文章にするために
    - ・ 事実と考えとを区別して書く。理由を明確にして自分の考えをまとめる。
  - さらに、説得力をもって自分の考えを伝えられるようにするために
    - ・ 調べて分かった事実の中からふさわしいものを取りあげ、自分の考えに関係づけて書く。
  - 文章全体の構成を踏まえて書くことができるようにするために
    - ・ 調べたことを報告する文章は、「調査の目的や方法」「結果から考えたこと」で構成して、根拠や理由を明確にして書く。

【「ふくしまの授業スタンダード」との関連】

- ★ 自分の考えが、どの叙述に基づいているのかを明らかにしながら表現させましょう。
- ★ 根拠や理由を明確にして自分の考えを書く学習活動を指導過程の中に位置付けましょう。